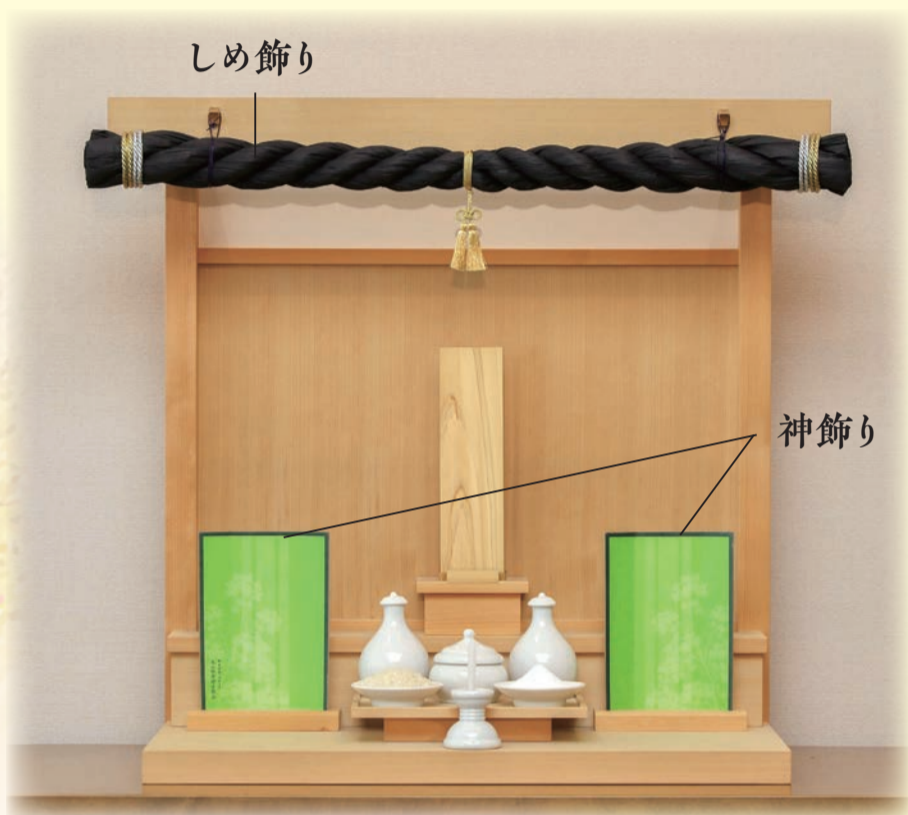


新たな年に向け 御神居を「あるべき姿」に

神の分魂が封じ込められた御神体は、
祈願を確かなものとするために欠かせないものです。
各自の環境に合わせ、真理を踏まえて、御神居を正しくしつらえましょう。



御神居にしつらえる神物 年内に準備するのが「あるべき姿」

新年に新たな御神体を迎える前に、
神飾り、しめ飾りを交換し、御神居を整えましょう。

神飾り

双葉から色が変わらない菜の葉の色で、平和を願われる神の不変の御心を表す。

※令和5年分から、三筋の道と菜の花を配した、新たな意匠になります。

しめ飾り

神魂を表す神紫を中心に、奇跡を表す金、予言を表す銀を絡めて、御神体を祭る清浄な場であることを示す。

御神体に備える供物

御水

上から下へと流れる水のように、素直な心で生きることを誓う。

御洗米

すぐに人の糧となれる洗い米のように、欠点を流し、人の役に立つことを誓う。



御酒

酒を飲むと心地よくなるように、常に明るい心で生きることを誓う。

御塩

白く不変な塩のように、変わらない思いを神に向けることを誓う。

御神居、御神体立て、御酒立て、水立て、燈立て、
御皿など、御神居関連用品も用意しています。

神示

迎える年も

心正しく信者の道が歩めるように

神魂宿りし分魂を 信者に預ける

日々 朝と夕

「教え」を心の支えに生きられるようにと

家族そろって神魂に

思いの全てを語りて生きよ

『真実の光・神示 平成28年版』172ページ

令和5年用の神飾り、しめ飾りは、9月23日から神総本部、偉光会館でお求めいただけます。
年末年始は混雑するため、お早めにお求めください。

ひかりのやかた